

平成21年度 「学校教育自己診断」結果報告

学校協議会事務局

はじめに

平成21年度「学校教育自己診断」の集計結果ができました。今回は、本校ホームページの「学校教育自己診断結果報告」に掲載している「今年度の3大目標」や「今後の取り組み」を診断できるような質問項目（新たな質問項目を含む）に絞って設定しました。

集計結果を分析し、本校の現状や課題を明らかにして、来年度に向けた改善・改革の方向をまとめましたので、ここに報告いたします。

回収（率）の状況

今年度、学校教育自己診断票の回収率は、生徒全体が79%（昨年度72%）、保護者全体が32%（昨年度29%）、教職員が67%（昨年度45%）でした。昨年度の学校協議会で、「保護者・教職員の回収率を上げる。」「回収率が低いと、本当の姿がみえてこないのではないか。」というご意見を頂戴しました。これを受けて、学校として実施時期を保護者懇談週間に合わせ、保護者の携帯メール登録者数を増やし、保護者の皆様に対して、アンケート実施に関する協力を呼びかけました。また、教職員に対しては、朝の職員連絡会などで適宜協力依頼を行いました。今後も、教職員がしっかり「自己評価」を行い、本校の現状を認識して、良いところは継続・維持、不十分なところは改善・改革をしていきます。

生徒の集計結果より

過去3年間を振り返り、改善・改革が必要であった質問項目

* 「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせた%

1 「学校へ行くのが楽しい。」45.7%（昨年度 42.4%）

4 「授業はわかりやすく楽しい。」31.5%（昨年度 22.0%）

6 「教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い。」27.0%（昨年度 20.2%）

14 「私は部活動に積極的に取り組んでいる。」29.6%（昨年度 21.1%）

今後の取り組み

授業規律指導 と わかる授業・楽しい授業の展開 と 基礎学力の定着

今年度、授業中の携帯電話に関わることや私語・化粧など、生徒の授業態度が悪い場合は、全教職員の共通認識のもと、別室指導・懲戒指導を含めて厳しく指導しました。その成果として、生徒たちの授業に取り組む姿勢は、見違えるほど良くなりました。

今後、生徒が安心して、しっかり学習できる環境を保つために、生徒との対話を大切にしながら、厳しい指導を継続していきます。

生徒が「分かる」授業、生徒が「楽しい」と感じる授業を目指します。生徒に「何のために勉強するのか」を理解させ、「やる気」をださせて、一人ひとりの生徒を大切にしたい授業を実践していきます。また、生徒に一般教養レベルの基礎学力を、身につけさせるための学力保障を検討して、実践していきます。

部活動の活性化

部活動に取り組んでいる生徒の数は、徐々に増えてきています。現在、本校は ・ 部併設のため、7・8限目授業があり、放課後が無い状態です。従って、部活動、補習・講習、集会、会議等の実施が困難な状況です。本校のこのような現状については、来年度より「放課後のある学校」を目指して、システムの改造をおこなっていきます。

新入生の部活動加入率をより一層促進させ、生徒に部活動を通して基本的な生活態度・マナーを身につけさせるとともに、コミュニケーション能力も育てていきます。そのために、学校として活動時間の確保に努め、何よりも顧問（教職員）の指導が重要であることを教職員が認識し、熱心な指導を実践して、部活動の活性化を図っていきます。

保護者の集計結果より

過去3年間を振り返り、改善・改革が必要であった質問項目

* 「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせた%

- 1 「学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きとしている。」 52.0% （昨年度 38.5%）
- 2 「生徒は、自分の学級が楽しいと言っている。」 62.6% （昨年度 45.1%）
- 4 「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。」 58.5% （昨年度 35.3%）

「よく当てはまる」「やや当てはまる」が高かった新しい質問項目

- 1 4 「成城高校に子どもを入学させて良かった。」 71.4%

今後の取り組み

生徒が楽しいと感じる・保護者が子どもを入学させて良かったと感じる学校づくり

来年度以降も本校は、「生徒が、学習活動にしっかり取り組める。」「部活動や行事等が盛んである。」「生徒会活動も活発で、生徒自ら意見を出し合い、考えたことが実現する。」学校、「生徒がイキイキしていて、学校へ行くのが楽しい。」と言える学校を目指します。

また、多くの保護者の方々に「成城高校に子どもを入学させて良かった。」感じていただけるような学校づくりに全教職員で邁進していきます。

学校が行う生徒への指導だけでなく、保護者の方々による家庭教育や地域の方々による日々の見守りがあってこそ、学校を拠点とした種々の取り組みが行えます。今まで以上の保護者・地域の方々のご協力を、よろしく願いいたします。

さらにきめ細かな連絡・連携 と 情報発信

生徒についての教職員と保護者の意思疎通は、学校教育を行っていく上で最も基本となる部分です。今まで以上に家庭との電話連絡、家庭訪問、懇談等を実施し、さらにきめ細かな連絡・連携を図っていきます。

今後、本校のホームページや保護者の携帯メール等を活用し、“本校の教育方針”“教育活動に関する情報”をわかりやすく保護者の方々に伝えていきます。

教職員の集計結果より

過去3年間を振り返り、改善・改革が必要であった質問項目

* 「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせた%

3 「年間の学習指導計画について、各教科でよく話し合っている。」63.1%

(昨年度 54.2%)

16 「ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。」42.1% (昨年度 20.8%)

24 「事件・事故・災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう役割分担が明確化されている。」60.6% (昨年度 45.9%)

「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせた%が高かった新しい質問項目

12 「自ら生徒に挨拶等の声かけを行っている。」84.2%

13 「生徒からの挨拶に、きちんと返している。」92.1%

14 「生徒と一緒に清掃を行うなど、生徒に清掃指導を行っている。」78.9%

19 「部活動の指導の中で、生徒にマナー指導も行っている。」76.3%

今後の取り組み

授業改善 と 校内研修

今まで以上に教員が自主的に生徒に対して授業評価等を実施し、「生徒がわかる・楽しい授業」

を目指して、授業改善（規律指導も含め）を図っていきます。また、教科あるいは全校をあげて、生徒一人ひとりに基礎学力を定着させる取り組みを今後も検討・実践し、進路決定力のある学校を実現します。

今年度、若手教員を中心に公開授業を実施しました。今後も、教員の“授業力”アップを目指し、教職経験・教科を越えてお互いの授業公開（見せ合い・評価し合う）を継続的に行っていきます。

生徒指導 と 挨拶 と 清掃活動

今年度、ケータイ・身だしなみ（頭髪・服装）・授業規律・登下校規律等の指導徹底により、生徒の様子が明らかに良い方向へ変化しています。また、教職員の方から生徒に挨拶等の声かけを頻繁に行うことにより、学校内で挨拶を交わす生徒の声がよく聞こえるようになってきています。来校者の方からも「成城の生徒は、よく挨拶をしてくれる。」と感心されることが多いです。これからもこの現状に甘んずることなく、生徒指導・マナー指導を行っていきます。

清掃活動についても、教職員と生徒と一緒に日々の清掃を行い、教職員が生徒に清掃の仕方等を教えることで、生徒自らの手で「自分たちの通っている学校」をきれいに清掃することの大切さを指導していきます。

来年度に向けての3大目標

- 1．授業規律と基礎学力をしっかりと生徒に身につけさせる。
- 2．部活動を活性化させ、生徒に充実した高校生活を送らせる。
- 3．挨拶をはじめとした、生徒のマナー向上を目指す。

おわりに

今年度の学校教育自己診断の結果報告は、以上の通りです。学校協議会で頂戴したご意見も含め、本校の良いところは更に伸ばし、改善が必要なところは方策を検討・実践して、皆様から「愛され、信頼される成城高校づくり」を進めていきたいと考えています。今後とも、皆様から忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

「学校教育自己診断」のその他の質問項目、数値（％）等につきましては、グラフ集計をご参照ください。

「学校教育自己診断」の集計結果等は、断りのない無断転用を禁じます。